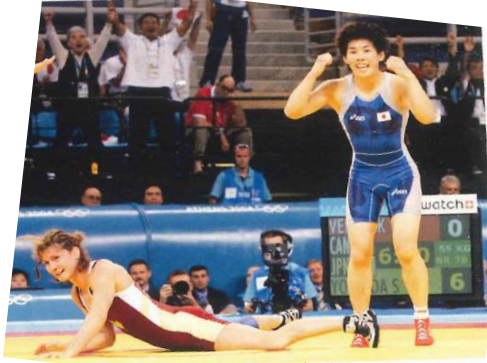


1年道德通信

第27号

第27回『栄光の架橋』



第27回目の道德では、「栄光の架橋」という曲の歌詞と、その曲作りに関わるエピソードを通して、夢や目標に向かって生きることについて考えました。このお話では、アテネオリンピック・パラリンピックのテレビ放送用テーマソング「栄光の架橋」の歌詞と、フォークデュオ「ゆず」の北川悠仁さんが曲作りに苦しんだエピソードが綴られています。テーマソングの依頼を受けて約3か月、世界の舞台を目指す選手の気持ちが北川さんにはわからず、なかなか曲が書けませんでした。苦しむ毎日の中で、代表選手も同じ人間、選手が味わってきた挫折や悔しさ、喜びなどの気持ちは、自分が「ゆず」として歩んできた道のりで感じてきた気持ちと同じではないかということに気づきます。そして、「栄光の架橋」が誕生しました。

みんなの意見

人は、どうして困難や失敗を乗り越えることができるのだろう。

- ・ 苦しかったり、しんどかったりしても、自分が夢や目標に到達したいと思うから。
- ・ 「やめたくない」「続けたい」という気持ちがあるから。
- ・ 乗り越えた先にやっていて良かったという達成感があるから。
- ・ 続けることをやめたら、今までの努力が水の泡になるから。
- ・ 苦しくてもその先はきっと幸せになると信じて乗り越えようとするから。みんなの期待に応えようとするから。
- ・ 目標を達成したときの気持ちを覚えているから。
- ・ 周りの人や、家族の支えなどがあるから。
- ・ 「オリンピックに出たい」とか、大きな目標を持っているから。
- ・ 自分が立てた目標をあきらめたくない気持ちが強いから、乗り越えることができると思う。

いくつもの日々を越えて
たどり着いた今がある